

第2回一宮北中学校区 幼保一元化に係る地域の委員会会議録

と き：平成27年3月2日（月）午後7時30分～

ところ：センター三方ホール

発言者	議題・発言内容
事務局	1. 開会 2. あいさつ
会長	私が積極的に会議の開催を促さなかったことは反省している。また、連合自治会、PTAより幼稚園の合併（統合）について、非公式ではあるが要望をしている。
事務局	地域の思い（非公式 要望）については内部で協議をしている。ただ、教育委員会の考えとしては幼保一元化施設にて地域の子ども達をあずかる方針に変わりはない。この後、いろいろな意見をいただきたい。
事務局	報告事項（これまでの経緯） 3. 協議事項
事務局	(1) 宍粟市幼保一元化計画について 資料1～4 前回より少し踏み込んだ説明 (なぜ社会福祉法人に……。公私連携幼保連携型とは……。)
委員	子どもにとって公立の幼保、普通に考えてそれが一番だと思っている。それ以外は考えていない。
委員	小学校は統合。同じように幼稚園も統合をなぜできないのか。
事務局	まず、幼稚園だけが残ることは避けたい。(法人化とは) 分けて考えていかなければ。また、要望である幼稚園の統合について、センター三方のグラウンドは中学校の部活動での使用を検討している。ここに幼稚園というのは難しい問題。今後、どうするかについて、一緒に考えたい。
事務局	(2) これからの進め方について
委員	来年4月以降、うちの子はどこ幼稚園に行くのか。ポツンと(現 三方幼稚園に) 残るのか。
委員	幼保一元化は一旦休止して、来年の幼稚園について話し合う場を持つか。
会長	幼保一元化は一旦休止して、来年の幼稚園について話し合う場を持つか。
事務局	停止も可だが、将来も見据え、引き続き検討を進めていくことにしてもらいたい。
委員	教育委員会として統合という形はできないのか。
事務局	幼稚園をそのまま残すべきではないと考えている。
委員	なぜ社福でないといけないのか。運営は保育料と公費で、赤字となっても公費をとということであれば、なぜ公立ではダメなのか。
委員	私立では保育の質が…。公立で今までどおり一定の質を保っていただきたい

事務局	い。 実際に現場を見て、聞いていただいて、気持ちはわかるが一緒に考えてもらいたい。
委員	子どものことを本当に考えなければ。前回の委員会から間が空いてしまった。その間、歩み寄りもない。認定こども園は保育所不足の考えからのものだと思う。(この地域は)今のままでよいと思う。もっと話をして、もっと意見交換をしなければならない。
委員	私もやはり平行線であると思う。千種もいろいろと話し合いもあり予算も膨らんだと聞いている。
会長	この会も進めながら幼稚園をどうするのか。別のメンバーで、このメンバーではできないのか。
事務局	ここでは幼保一元化の協議を。同じメンバーもいるかもだが、別の会、別のメンバーでお願いしたい。
会長	では、近隣施設の視察としてはどこがあるのか。
事務局	たつの市揖保川町のまあや学園など。
委員	朝来市の公立の認定こども園は。
事務局	大丈夫です。
会長	一度、視察の計画をお願いします。
委員	3つの幼稚園のPTAの願いも聞いてやってもらいたい。
事務局	いただいている要望書の内容は協議させていただきます。
会長	正式な形で要望書は提出します。(関係者に対して)あとで相談しましょう。
事務局	では、本日協議いただいた内容の確認として、 1. 当委員会は、このメンバーで継続する。 2. 27年度に入ってから、視察の計画をする。 3. 幼稚園の統合については、この委員会とは別の場で協議をする。
委員	了承